

令和4年度（2022年度）

# 宇城市不知火美術館年報

沿革	3
施設概要	4

## I 事業報告

---

(1) 企画展	8
① KOSUGE1-16 《未完星 [mikən-sei] 》	
② 中野裕介／パラモデル『かなたをよむ：海と空のあいだのP』	
③ 不知火美術館コレクション展+とびだすプロジェクト『表現は日常にこだまする』	
(2) その他の展覧会	17
① 不知火美術館講座 アート展	
② マナブ間部記念 宇城市児童絵画作品展	
③ Shiranuhi Art Museum Project “Touch our lives”	
(3) 貸館事業	20
(4) 教育普及事業	21
① 美術館講座	
② とびだすプロジェクト	
(5) 美術資料の収集・保存・貸出	23

## II 資料

---

(1) 令和4年度（2022年度）年間スケジュール	25
(2) 統計資料	26

# 沿革

## 【平成5年度（1993年度）】

北河原温建築都市研究所＋伊藤建築事務所に基本設計を依頼  
不知火町に河野浅ハの旧生家から発見されたオリジナルプリントとネガフィルムが多数寄贈される

## 【平成10年度（1998年度）】

2月 不知火文化プラザ工事着工

## 【平成11年度（1999年度）】

4月 不知火文化プラザ竣工  
7月 不知火文化プラザ落成式  
「第一回マナブ間部賞」授賞式  
夏休みにマナブ間部賞受賞の  
児童（小6）3名を引率しブラジルへ  
不知火文化プラザ開館  
美術館名称は不知火町立美術館

■開館記念展前期（7/19～8/22）

■開館記念展後期（8/24～9/25）

## 【平成12年度（2000年度）】

11月 マナブ間部賞受賞者  
（ブラジル、イタリア、ケニア、  
アメリカ）33名来館

## 【平成16年度（2004年度）】

旧宇土郡三角町、不知火町、下益城郡松橋町、小川町、豊野町の5町の合併により宇城市不知火美術館に名称変更

## 【平成20年度（2008年度）】

■宇城市不知火美術館開館10周年記念  
坂本寧展（5/8～6/15）  
TKUドキュメンタリードラマ放映  
「夢の足跡・画家マナブ間部～ブラジルと  
日本に架けた虹」  
1月 ブラジル移民100周年記念  
マナブ間部賞公募展  
（1/7～2/1）  
※応募総数172点  
「マナブ間部記念 児童生徒絵画作品展」  
始まる

## 【平成21年度（2009年度）】

■開館10周年記念 吉家研二日本画展  
（9/29～11/1）

## 【平成23年度（2011年度）】

■生誕100年 坂本善三展～どこまでも深くどこまでも広く～  
（9/21～10/30）

## 【平成25年度（2013年度）】

■生誕100年塔本シスコ展  
（9/25～11/4）

## 【平成28年度（2016年度）】

4/14、4/16の熊本地震により美術館が被災したため長期休館となる  
※河野浅ハ写真展は急遽開催中止

## 【平成29年度（2017年度）】

6月 美術館復旧工事終了  
■宇城市不知火美術館再開記念展  
（7/20～8/20）

## 【平成30年度（2018年度）】

■ブラジル移民110年マナブ間部展 大地に夢を描いて  
■Exile Dream of Hope 国吉康雄と野田英夫  
（1/5～2/3）

## 【令和元年度（2019年度）】

■開館20周年記念 動物画家 藪内正幸絵  
本原画展（7/17～8/25）

## 【令和3年度（2021年度）】

改修工事により長期休館  
館運営に当る指定管理者に「カルチュア・  
コンビニエンス・クラブ株式会社」を指定  
8月 不知火美術館・図書館改修工事着工  
3月 不知火美術館・図書館改修工事竣工

## 【令和4年度（2022年度）】

4月 不知火美術館・図書館リニューアル  
オープン  
■リニューアルオープン記念展  
「KOSUGE1-16 《未完星 [mikən-sei] 》」  
（4/3～6/4）

# 施設概要

施設名称	宇城市不知火美術館
所在地	熊本県宇城市不知火町高良2352
構造	鉄骨造
竣工年	1999年
設計	北川原温＋伊藤建築事務所
施工	西松建設九州支店
電話	0964-32-6222
FAX	0964-32-6213
開館時間	午前9時から午後6時まで ※土曜日のみ午後9時まで開館
休館日	展示入替日、メンテナンス日のみ
運営	指定管理者： カルチャア・コンビニエンス・クラブ株式会社

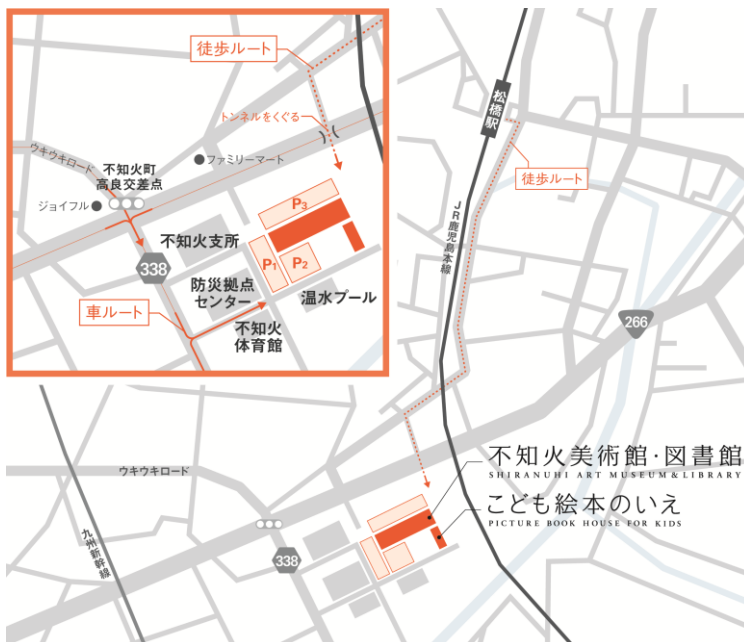
## ▼面積

敷地面積	11,575.01 m <sup>2</sup>
延床面積	1,793.18 m <sup>2</sup>
美術館面積	860.8 m <sup>2</sup>
展示室	225.9 m <sup>2</sup>
アトリエ（大）	25.11 m <sup>2</sup>
アトリエ（小）	15.5 m <sup>2</sup>
ミュージアムショップ	18.7 m <sup>2</sup>

## 施設マップ



## アクセスマップ



## 不知火美術館・図書館について

### コンセプト『誰もが創造性を育み 発揮する美術館・図書館』

不知火美術館・図書館は、美術館と図書館が同じ建物に隣接して同居する、宇城市の総合的な文化施設です。

美術館は、宇城市ゆかりの世界的に著名な芸術家たちのコレクションを特徴としています。この風土が揺籃し、世界に羽ばたいた芸術家たちの業績を未来へ引き継いでいくことと同時に、変化に富む現代に生きる私たちの生活と地続きにある多様なアートや表現に触れる機会も作り、対話の生まれる場を生み出していきます。図書館は、知の拠点として文化の継承を行うとともに、知識の根を深めていく創造の拠点を作っていきます。市民が、美術館と図書館を行き来しながら、美術館でアートを通して見つけた未知の世界への扉を、図書館の資料を通してさらに開き、新しい地図を得ていく、そんな場になっていくことを願っています。



外観



ブック&カフェエリア



美術館展示室入口




ミュージアムショップ



アトリエ (大)



アトリエ (小)



# I 事業報告

---

# (1) 企画展

## ① KOSUGE1-16 《未完星 [mikən-sei]》

### 開催概要

会 期	2022年4月3日（日）～6月4日（土）
会 場	宇城市不知火美術館 展示室
開催日数	63日
観覧料	一般300円、高大生200円、中学生以下無料
入場者数	5,805名
主 催	宇城市不知火美術館 (宇城市教育委員会、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)
後 援	熊本県文化協会、熊本日日新聞社、KKT熊本県民テレビ、 TKUテレビ熊本、RKK熊本放送、KAB熊本朝日放送
アーティスト	KOSUGE1-16

### 開催内容

不知火美術館リニューアルオープン後、初の企画展として、「みんなのミュージアム」をコピーに掲げ、美術館を遠く感じている市民との関わりの創出と、新しいミュージアム像を提示することを目指した。

KOSUGE1-16を招聘し、宇城の生産者の取材を経て体験型作品と公募型アートプロジェクトで構成された。体験型作品は、くまもと☆農家ハンターやみかん農家から刺激を受けて生まれた、果樹と動物がモチーフの巨大なサッカーゲームで子どもたちが実際に遊びながら地域の思考を感じるこ

ができる装置となった。公募型アートプロジェクトは、誰の家にもある“作りかけのもの”（＝未完）とそのエピソードを合わせて紹介した。地域に暮らす人々の素顔や、私たちが生きる時代を浮かび上がらせると同時に、何かを生み出すことの根源的な喜びに光を当てた、美術館の表現の射程を広げる展覧会となった。

会期中、KOSUGE1-16によるトークイベントや、展示作品サッカーゲームを使ったサッカーゲーム大会「みかん杯」を開催し、老若男女様々なチームが参加し、交流した。

### 関連事業

イベント名	日時	参加者数	内容
未完トーク KOSUGE1-16と未完を語ろう	4月3日（日）	10名	展示室内で作品を見ながら未完の可能性について、アーティストKOSUGE1-16が語った。
サッカーゲームのアドボードに果物や野菜の絵を描こう	4月30日（土）	50名	展示作品サッカーゲーム《AC-mikən》の一部になる大きな板に、絵の具やクレパスで絵を描くワークショップを開催。 講師：KOSUGE1-16
サッカーゲーム みかん杯	4月30日（土）	55名	《AC-mikən》を活用しサッカーゲーム大会を開催。KOSUGE1-16の実況・進行。優勝者にはKOSUGE1-16特製の優勝カップが授与された。
サッカーゲーム みかん杯 フィナーレ	6月4日（土）	50名	サッカーゲーム作品で大会を開催。ゲストはKOSUGE1-16土谷享、平岡教育長、巻誠一郎（サッカー元日本代表）、野村誠（作曲家）。



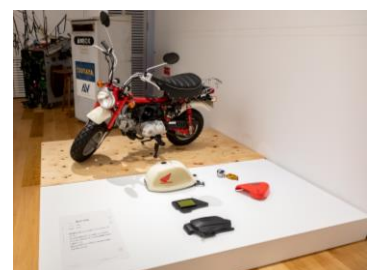
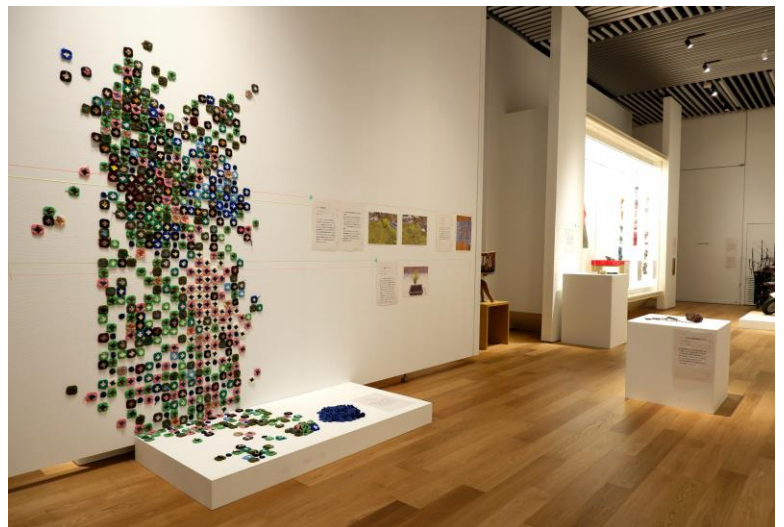
# ① KOSUGE1-16 《未完星 [mikən-sei] 》

## 展示風景

撮影：山田写真館、美術館職員



体験型作品 KOSUGE1-16 《AC-mikan》



① KOSUGE1-16 《未完星 [mikān-sei] 》

イベント風景

撮影：山田写真館、美術館職員



《AC-mikān》を使った  
サッカーゲーム みかん杯



4月30日サッカーゲームのアドボードに果物や野菜の絵を描こう

## ② 中野裕介／パラモデル『かなたをよむ：海と空のあいだのP』 Perceiving PARATOPIA Between the Sea and Sky

### 開催概要

会 期	2022年8月13日（土）～10月15日（土）
会 場	宇城市不知火美術館 展示室
開催日数	62日
観覧料	一般300円、高大生200円、中学生以下無料
入場者数	2,649名
主 催	宇城市不知火美術館 (宇城市教育委員会、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)
協 力	MORI YU GALLERY、株式会社WEST、肥後琵琶乃会 株式会社フジオ・プロダクション、松錦館
後 援	熊本県文化協会、熊本日日新聞社、KKT熊本県民テレビ、 TKUテレビ熊本、RKK熊本放送、KAB熊本朝日放送
アーティスト	中野裕介／パラモデル

### 開催内容

現代アーティスト中野裕介／パラモデルが、不知火海や熊本にまつわる文学や芸能をリサーチし、複数の映像と巨大なドローイングを大胆に交錯させる新作の映像インスタレーションを創作して、展示室を物語世界に変容させた。石牟礼道子や肥後琵琶の語りを導き手に、テキストや風景の断片と自由に戯れる中野の眼差しを通して、土地が傷と対峙し生み出してきた創造力を喚

起させた。作品は美術館をとびだし、図書館の棚にも展示され、美術館と図書館をつなぐ展覧会となった。

会期中、中野によるアーティストトークのほか、琵琶奏者による語り物ライブ演奏、文学者を招いたトーク、青いおもちゃのレールで美術館と図書館を結ぶ道を描くワークショップを開催した。

映像制作：高野友実、倉地宏幸（大阪電気通信大学）、中市和磨

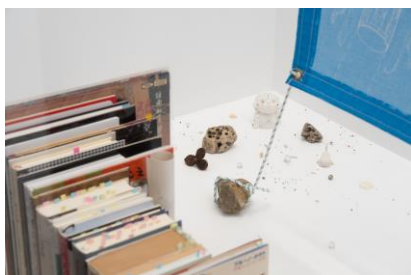
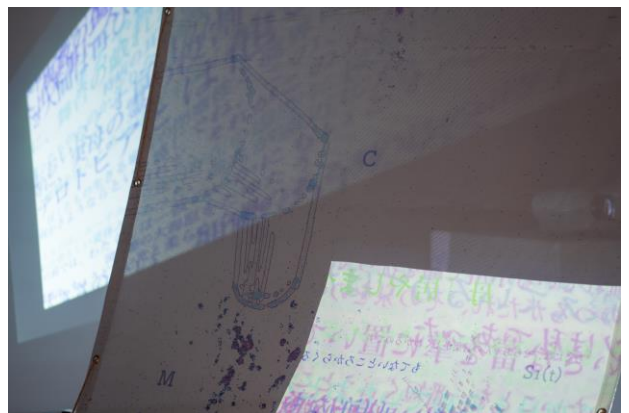
### 関連事業

イベント名	日時	参加者数	内容
中野裕介／パラモデル アーティストトーク	8月13日（土）	25名	中野裕介／パラモデルが、これまでの活動や今回のリサーチ、図書館とのかわりについて語った。
「かなたをきく」	8月14日（日）	30名	展示室内で、肥後琵琶奏者2名による語り物「俊徳丸」の演奏を実施。 演奏：後藤昭子、岩下小太郎（ともに肥後琵琶乃会）
ワークショップ 「青いレールで 美術館と図書館をつなごう」	8月14日（日）	10名	中野裕介／パラモデルが作品で象徴的に用いた鉄道玩具のレールで美術館と図書館のあいだを繋ぐ道を自由に描くワークショップを開催。 講師：中野裕介／パラモデル 演奏：岩下小太郎（肥後琵琶乃会）
ライブ+トーク 「かなたをきく+かた る」	9月11日（日）	40名	展示空間の中で、琵琶奏者による語り物のライブ演奏と、中野とゲストによるトークを実施。 演奏：後藤幸浩（正派薩摩琵琶） トークゲスト：兵藤裕己（日本文学・芸能論） 西成彦（比較文学）

② 中野裕介／パラモデル『かなたをよむ：海と空のあいだのP』  
Perceiving PARATOPIA Between the Sea and Sky

展示風景

撮影：Tomomi Takano



② 中野裕介／パラモデル『かなたをよむ：海と空のあいだのP』  
Perceiving PARATOPIA Between the Sea and Sky

図書館エリアの展示・関連事業

撮影：Tomomi Takano



図書館エリアの展示風景

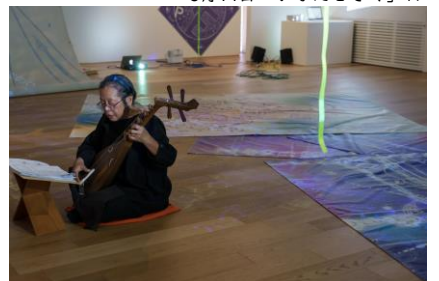


9月11日「かなたをきく+かたる」

8月14日「かなたをきく」11



8月14日ワークショップ「青いレールで美術館と図書館をつなごう」



8月13日アーティストトーク

### ③ 不知火美術館コレクション展＋とびだすプロジェクト 表現は日常にこだまする

#### 開催概要

会 期	2022年12月15日（木）～2023年1月29日（日）
会 場	宇城市不知火美術館 展示室
開催日数	46日
観覧料	一般300円、高大生200円、中学生以下無料
入場者数	1,336名
主 催	宇城市不知火美術館 (宇城市教育委員会、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)
後 援	熊本県文化協会、熊本日日新聞社、KKT熊本県民テレビ、 TKUテレビ熊本、RKK熊本放送、KAB熊本朝日放送
アーティスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コレクション展 武内明子、夏目信弘、野田哲也、野田英夫、働正、マナブ間部</li> <li>■とびだすプロジェクト ワークショップ・展示監修：野村誠（作曲家） 作品展示：宇野千里、磯谷民子、坂田黎一、矢田道也、清原武則</li> </ul>

#### 開催内容

不知火美術館の収蔵作品から、とくに社会や同時代に暮らす人々に開かれていることを特徴とする作品・作家を紹介した。アートと社会をつなぐ実践を通し、アートの在り方をあらためて見出していく機会を創出することを目指した。

「とびだすプロジェクト」は、美術館が宇城市各地（＝社会）へと飛び出していく試みで、今回は作曲家・野村誠と小学校な

どを訪ね、宇城市の子どもたちと当館の収蔵作品が会うワークショップを開催した。子どもたちが選んだ収蔵作品の1点をテーマにした音楽を作曲し、展示室では選ばれた収蔵作品の展示と、そこで生まれた音楽を紹介したほか、ワークショップのドキュメント映像を制作し、展示会場で上映した。会期中、作曲家・野村誠と、収蔵作家で画家の武内明子によるワークショップを開催した。

#### 関連事業

イベント名	日時	参加者数	内容
野村誠アーティストトーク 「子どもの発想に教わって作曲する」	1月9日（月）	25名	作曲家・野村誠が「とびだすプロジェクト」や、これまでの活動について語るアーティストトークを実施。
鑑賞ワークショップ 「音を出して、絵を見よう」	1月21日（土）	16名	展示作品から、みんなで自由に音楽をつくるワークショップを開催。 講師：野村誠（作曲家）。
ワークショップ 「自分の絵筆をつくって、線を描こう」	1月22日（日）	14名	自然のものや身近にある素材で、絵筆をつくるワークショップを開催。 講師：武内明子（画家）
豊福小学校吹奏楽部&不知火中学校マンドリン部コンサート	1月29日（日）	200名	とびだすプロジェクトに参加した市内小中学生によるコンサートを展覧会最終日に実施。

③ 不知火美術館コレクション展+とびだすプロジェクト  
表現は日常にこだまする

展示風景

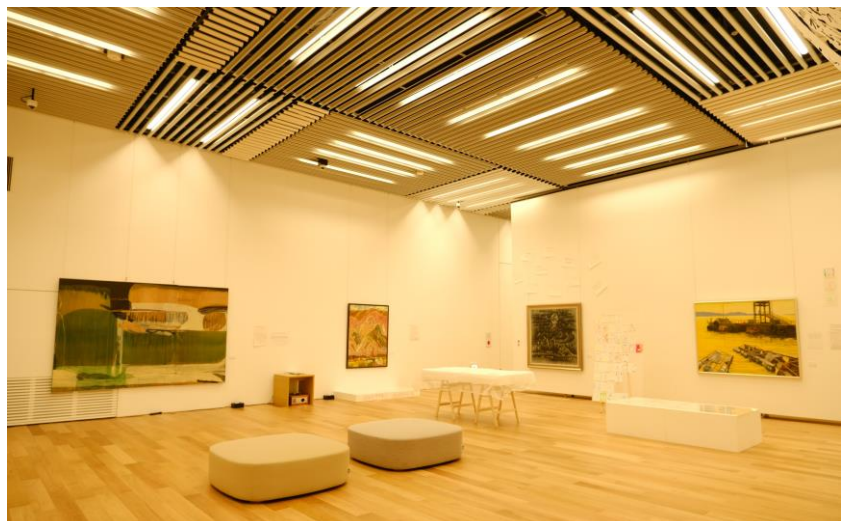
撮影：美術館職員



コレクション展示風景



子ども達の書いた歌詞や図形楽譜も展示した



コレクション+とびだすプロジェクト展示風景

③ 不知火美術館コレクション展+とびだすプロジェクト  
表現は日常にこだまする

イベント風景

撮影：美術館職員



1月21日鑑賞ワークショップ「音を出して、絵を見よう」



1月22日ワークショップ「自分の絵筆をつくって、線を描こう」



## (2) その他の展覧会

### ① 不知火美術館講座受講生 アート展

#### 開催概要

会 期	(1) 2022年6月21日(火)～6月26日(日) (2) 2023年3月28日(火)～4月2日(日)
会 場	宇城市不知火美術館 展示室
開催日数	12日
観覧料	無料
入場者数	(1) 860名 (2) 243名
主 催	宇城市不知火美術館 (宇城市教育委員会、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)
アーティスト	美術館講座 受講生

#### 開催内容

不知火美術館で開催している美術館講座の受講生による作品展を開催した。

開講されている5講座(日本画、洋画、水墨画、俳画、絵手紙)それぞれの作品を展示した。

#### 展覧会風景



俳画講座受講生作品



洋画講座受講生作品



絵手紙講座受講生作品



一年間の集大成の展覧会

## ② マナブ間部記念 宇城市児童絵画作品展

### 開催概要

会 期	2023年2月2日（火）～2月12日（日）
会 場	宇城市不知火美術館 展示室
開催日数	11日
観覧料	無料
入場者数	1,719名
主 催	宇城市不知火美術館 (宇城市教育委員会、カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社)
アーティスト	宇城市立小学校在籍の小学生
審査員	岩崎千夏（熊本市現代美術館副館長） 上原史寛（デザイナー）

### 開催内容

美術館主催で毎年開催する宇城市出身の画家・マナブ間部の画業を顕彰した市内の小中学生の絵画作品展を開催した。

1,331点の応募作品から選ばれた277点の入選作品を展示した。会期中に入賞者の表彰式を実施した。

### 展覧会風景



学年ごとに入選作を展示



各学校から集まった力作



学校での活動を描いた作品



身近な風景を描いた作品

### ③ Shiranuhi Art Museum Project “Touch our lives”

#### 開催概要

会 期	2023年2月21日（火）～3月12日（日）
会 場	宇城市不知火美術館 展示室
開催日数	20日
観覧料	無料
入場者数	2,233名
主 催	宇城市不知火美術館 (宇城市教育委員会、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)
アーティスト	COIL Upcycle Art Contest、小山信子(SHINKO KOYAMA)、 瀬戸ロ（セトログ・me in mommy's tummy）、 ムラカミアスカ、脇田あおい

#### 開催内容

写真、廃棄物から生まれたアート作品、イラストレーション、絵画、インスタレーションなどそれぞれの方法で自らの表現をつかみ取ろうとするアーティストやプロジェクト5組によるグループ展を開催した。

〈COIL Upcycle Art Contest〉は、身近なゴミや廃棄物を素材として生み出されたアート作品を展示した。見るだけでなく、触れる・聞くとといった五感で楽しめる作品で社会課題課題について考える機会を作った。

〈瀬戸ロ（セトログme in mommy's tummy）〉は、生まれたばかりの命の、かけがえのないトキを写しとった数々の写真を展示した。

ほか、単身でアメリカに渡り、40年間カリフォルニアの文化を吸収した〈小山信子（SHINKO KOYAMA）〉、物語が動き出すような伸びやかな絵画を描く〈ムラカミアスカ〉、日常にある不確かなもの、見えないものをつかみ取ろうと描き続ける〈脇田あおい〉の3名の絵画作品を展示した。

#### 展覧会風景



COIL Upcycle Art Contestによる作品



〈瀬戸ロ(セトログme inmommy's tummy)〉の展示風景

## (3) 貸館事業

### 貸館スケジュールと実績

会期	展覧会名	入場者数	内容
6月8日(水) ～6月12日(日)	宇城・女性美術展	972名	宇城地区在住の女性画家による作品約40点を展示。
6月14日(火) ～6月19日(日)	第5回 宇城退職校長会文化展	1,158名	宇城退職校長会の会員による文化展。
6月28日(火) ～7月3日(日)	不知火書作展	576名	宇城市在住又はゆかりある書道愛好家の書道展。
7月5日(火) ～7月10日(日)	KINJIワールドⅣ 芸術は爆発だ、KINJIも爆発	513名	小林欣治氏によるクレパス画72点の展示。
7月12日(火) ～7月18日(月)	第20回宇城市特別支援学校合同作品展	1,213名	宇城市内にある特別支援学校3校と近隣の幼稚園、小学校、中学校7校の作品展。
7月26日(火) ～7月31日(日)	松井寛・千住みどり出版記念巡回展 Pale 響 orange	1,220名	松井寛氏と千住みどり氏がそれぞれ写真集を出版した記念巡回展の最終回。
10月19日(水) ～10月23日(日)	第18回松美展	584名	松橋美術クラブ会員による絵画作品約50点を展示。
10月25日(火) ～10月30日(日)	宇城市民文化祭「書道と写真」展	745名	宇城市文化協会会員による書道(4団体)と写真(3団体)の作品約70点を展示。
11月1日(火) ～11月6日(日)	宇城市民文化祭「絵画」展	626名	宇城市文化協会会員の作品展示。
11月8日(火) ～11月13日(日)	宇城市民文化祭「作品」展	712名	パッチワーク、押し花、切り絵など作品約100点を展示。
11月15日(火) ～11月20日(日)	第18回UKI美展	1,149名	宇城美術クラブ会員による作品展。
11月22日(火) ～11月27日(日)	令和4年度宇城小中学校絵画展	3,349名	宇城地域の小中学生が描いた作品の中から、審査会で金賞に選ばれた作品を展示。
11月29日(火) ～12月4日(日)	吉田正美「内部視覚」展	394名	熊本市在住の吉田正美氏の個展。作品約30点を展示。
12月6日(火) ～12月11日(日)	第15回宇城市読書感想画コンクール作品展	578名	宇城市内小学生が参加した読書感想画コンクール優秀作品、入選作品を展示。
2月14日(火) ～2月19日(日)	第7回 七人展	1,112名	松井寛、千住みどりが中心となって集まった7名によるアート&写真展。
3月14日(火) ～3月19日(日)	熊彩画展	650名	チョークアートの魅力と生徒さんたちの作品を発表するグループ展。
3月21日(火) ～3月26日(日)	第11回宇城地区合同日本習字作品展	984名	宇城地区日本習字会員によるかきぞめ作品展。
合計		16,535名	

## (4) 教育普及事業

### ① 美術館講座

#### 開催実績

講座名	開催期間	開催回数	参加者数
日本画講座	5月18日(水) ～9月7日(水)	全8回	98名
洋画講座	5月24日(火) ～9月27日(火)	全8回	97名
絵手紙講座	5月26日(木) ～9月8日(木)	全8回	110名
俳画講座	5月28日(土) ～9月24日(土)	全8回	75名
水墨画講座	5月17日(火) ～9月20日(火)	全8回	77名

#### 開催内容

講座名	講座内容
日本画講座	伝統的な日本画の描き方を筆の使い方から学ぶ。基礎を学んだ後は、「岩絵の具」を使って本格的な作品制作を行う。 講師：増田照夫先生
洋画講座	絵の基礎になるデッサンを学び、水彩や油絵なども講座の中で制作した。受講生の中には、公募展にチャレンジするなど活動の幅も広がっている。 講師：福田次子先生
絵手紙講座	季節の絵に言葉を添えて思いを綴る絵手紙を学ぶ。初めて絵を始めたい方も気軽に参加できる講座。 講師：小崎洋子先生
俳画講座	俳味のある酒脱な墨絵を描く講座。主に色紙などに墨と顔彩を使い、季節の風物を趣深く描く。 講師：戸田東蔭先生
水墨画講座	墨の濃淡やにじみ、かすれ等で表現する水墨画。基本の伝統的な技法を学んだ後は掛軸などの大作に挑戦する人も。 講師：戸田東蔭先生

## ② とびだすプロジェクト

### 開催概要

期 間	2022年11月30日(水)～12月12日(月)
主 催	宇城市不知火美術館 (宇城市教育委員会、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)
アーティスト	野村誠 (作曲家)
参加者数	163名

### 開催内容

美術館や収蔵作品と、小学生たちとの新しい関わりを作り出す試みとして、美術館の外へアーティストととびだし、収蔵作品を自由に鑑賞し創作につなげるワークショップを開催した。作曲家・野村誠氏とのワークショップは、子どもた

ちからの様々な感想や音を拾い上げてその場で音楽に変えていく創造性の高い時間となった。宇城市旧町で1校ずつの訪問を目標に、学校や地域との繋がりを創出できた。ワークショップの成果は、『表現は日常にこだまする』にて展示し、広く周知した。

### 訪問先

地域	訪問先	鑑賞した作品	参加者数
小川町	延福寺・寺子屋	宇野千里『会場の太陽』	30名
豊野町	豊野小学校 1年生・2年生	磯谷民子『春律』	46名
松橋町	豊福小学校吹奏楽部 4年1組・4年2組	矢田道也『里は今』	75名
不知火町	不知火中学校マンドリン部	清原武則『秋の山』	12名
三角町	戸馳保育園	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

### ワークショップ風景



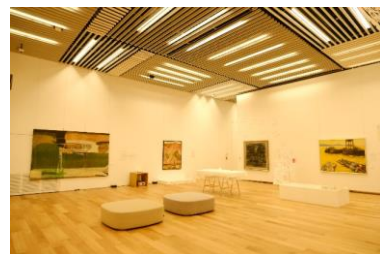
豊野小学校の様子



延福寺の様子



不知火中学校の様子



展示風景

## (5) 美術資料の収集・保存・貸出

### 寄贈作品一覧

2023年2月、画家・塔本シスコの作品15点が宇城市へ寄贈された。  
15点のうち絵画13点、造形物2点。塔本シスコが松橋で過ごした子供時代の思い出などを描いた作品を中心に収集した。

No.	作品名	制作年	技法/素材	サイズ(cm)
1	五色山の思い出	1988年	キャンバス/油彩	130.2×161.9×2.8
2	古里の家（シスコ、ミドリ、シュクコ、ミア、ケンサク）	1988年	キャンバス/油彩	130.2×161.9×2.8
3	シャク取り（不知火海）	1989年	段ボール/アクリル絵画	92.0×190.6×4.8
4	ふるさとの海 不知火海 潮まねき カニ	1993年	キャンバス/油彩	32.0×41.1×2.1
5	セタの朝 きれいな髪になるように	2000年	キャンバス/油彩	31.8×41.0×1.9
6	オノダチの大運動会	2001年	段ボール/油彩/ アクリル絵具/ フェルトペン	89.8×180.3×0.5
7	ウマイレガワ	2001年	キャンバス/油彩	53.2×65.2×2.0
8	古里の家	2003年	段ボール/油彩	73.1×91.5×0.6
9	もらったラン、もらったシクラメン	1996年	キャンバス/油彩	106.7×91.1×2.5
10	名月 大正十年の十五夜	1994年	キャンバス/アクリル絵具	72.9×61.0×2.2
11	フレ川綱引き	2003年	段ボール/油彩	97.4×130.4×1.0
12	不知火 長浜の朝	1987年	キャンバス/油彩	53.0×45.6×1.9
13	長浜の貝堀2	1987年	キャンバス/油彩	52.9×45.6×1.9
14	古里の家、サボンの木	1995年	竹筒/油彩	53.1×直径7.8
15	松橋のおもいで カニ	1998年	竹筒/油彩	23.0×直径7.8



# II 資料

---



# (1) 令和4年度(2022年度)年間スケジュール

会期	展覧会名
4月3日(日)～6月4日(土)	■不知火美術館リニューアルオープン記念 KOSUGE1-16《未完星[mikən-seij]》
6月8日(水)～6月12日(日)	宇城・女性美術展
6月14日(火)～6月19日(日)	第5回 宇城退職校長会文化展
6月21日(火)～6月26日(日)	不知火美術館講座 アート展
6月28日(火)～7月3日(日)	不知火書作展
7月5日(火)～7月10日(日)	KINJIワールドⅣ 芸術は爆発だ、KINJIも爆発
7月12日(火)～7月18日(月)	第20回宇城市特別支援学校合同作品展
7月23日(土)	UGC～宇城ガールズコレクション～
7月26日(火)～7月31日(日)	松井寛・千住みどり出版記念巡回展 Pale 響 orange
8月13日(土)～10月15日(土)	■不知火美術館夏の企画展 中野裕介/パラモデル『かなたをよむ：海と空のあいだのP』
10月19日(水)～10月23日(日)	第18回松美展
10月25日(火)～10月30日(日)	宇城市民文化祭「書道と写真」展
11月1日(火)～11月6日(日)	宇城市民文化祭「絵画」展
11月8日(火)～11月13日(日)	宇城市民文化祭「作品」展
11月15日(火)～11月20日(日)	第18回UKI美展
11月22日(火)～11月27日(日)	令和4年度宇城小中学校絵画展
11月29日(火)～12月4日(日)	吉田正美「内部視覚」展
12月6日(火)～12月11日(日)	第15回読書感想画コンクール作品展
12月15日(木)～1月29日(土)	■不知火美術館冬の企画展 不知火美術館コレクション展+とびだすプロジェクト 『表現は日常にこだまする』
1月31日(火)～2月12日(日)	マナブ間部記念 宇城市児童絵画作品展
2月14日(火)～2月19日(日)	第7回 七人展
2月21日(火)～3月12日(日)	Shiranuhi Art Museum Project "Touch our lives"
3月14日(火)～3月19日(日)	熊彩画展
3月21日(火)～3月26日(日)	第11回宇城地区合同日本習字作品展
3月28日(火)～4月2日(日)	美術館講座受講生 アート展

## (2) 統計資料

### 月別利用状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	28日	31日	24日	27日	19日	28日	27日	27日	28日	29日	25日	29日	322日
(企画展)	28日	31日	4日	0日	19日	28日	15日	0日	17日	29日	0日	0日	171日
(貸館)	0日	0日	20日	27日	0日	0日	12日	27日	11日	0日	25日	29日	151日
入場者数	2,790名	2,637名	3,656名	3,133名	1,003名	1,076名	1,964名	5,940名	1,249名	944名	3,579名	3,140名	31,111名
<一般>	1,432名	1,315名	3,437名	3,131名	581名	659名	1,750名	5,940名	1,094名	686名	2,751名	2,429名	25,205名
<高校生・大学生>	33名	104名	18名	0名	27名	37名	8名	0名	13名	15名	15名	0名	270名
<中学生以下>	1,325名	1,218名	201名	2名	395名	380名	206名	0名	142名	243名	813名	711名	5,636名
アトリエ申込件数	0件	3件	6件	3件	5件	4件	2件	3件	6件	0件	3件	1件	36件
アトリエ利用件数	0件	12件	19件	50件	31件	20件	20件	55件	21件	17件	18件	30件	293件